2002年度計算機言語 I 定期試験

- 1. 次の問いに答えよ。
 - (a) 次の ML の型を持つ式の例を挙げよ。
 - i. (int * char) list
 - ii. int list list list
 - (b) 次の ML の式はどこが誤っているか。理由も添えて答えよ。
 - i. if 2 < 3 then 4
 - ii. [1]::[5, 10]
 - (c) ML の式 [1,4,3] を次のパターンに照合させたとき、変数 y にはそれぞれ 何が束縛されるか。
 - i. x∷y
 - ii. x::y::z::w
- 2. 次の関数を ML で実装せよ。
 - (a) ユークリッドの互除法により二つの整数 $a,b(a,b \ge 0)$ の最大公約数を求める再帰関数 gcm(a,b)。ユークリッドの互除法とは次のようなアルゴリズムである。
 - b=0 ならば、 $qcm(a,b)=a_{\bullet}$
 - $b \ge 1$ ならば、 $gcm(a,b) = gcm(b, a \bmod b)$ 。ただし $a \bmod b$ はa をb で割った余りである。
 - (b) $n(\ge 0)$ から 0 までの整数を順に並べたリストを得る再帰関数 countdown(n)。たとえば countdown(3) = [3,2,1,0] となる。
- $3. \ n(\geq 0)$ の 2 進数表現を文字列で得る関数 binary(n) を ML で実装することを考える。
 - (a) 補助関数として、 $n \ge 1$ のときは正しい結果が得られるが、n = 0 のときは空文字列が得られる関数 binary1(n) を実装せよ。
 - (b) binary1(n) を用いて binary(n) を実装せよ。